

櫻守の会

2020年3月1日（通巻250号）
発行：櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0845 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 116名（2月25日現在）
HP：<http://www.sakuramori.net>

2020年3月 木の名前

吉田 隆信

入会して12年目に入りました。体力は別ですが、今でも活動地へ行くときは新鮮な気持ちで出かけています。ずぼらな人間が長く続けられたのは作業の楽しさと四季の変化にひかれたと勝手に思っています。

<樹木一覧について>

作業はさておき、山の自然、特に伐採する木の名前が少しばかり気になり、ネット等で調べたり、観察会に参加したりして活動地ごとの写真入り樹木一覧表を作ろうとしましたが、道半ばで終わっています。現在運営委員会で植物等の調査をしておられるとのこと、よろしくお願いします。

<植物分類>

脱線しますが、植物分類方法（生物全般）は方向としては形態から遺伝子分析に移っているようで、遺伝子分析は突き詰めると、有力説は40億年程前に生まれた1個の生命が変化進化して現在の動物や植物になった。人類みな兄弟どころか生物みな兄弟というところでしょうか。

<森の整備>

サクラ周りの木を整理伐採する時、何本かは名前のわからないものもあります。特に珍しい木の幼木は残せばよいと思っています。ただ、現在活動地は大木が増えているため、巨木は市・県に処理していただいているところですが、それ以外の大ぶりの木については慎重に当会で間伐していけばよいと思っています。整備した後、5年後10年後には実生のサクラや名もない木であふれているかもしれませんね。



コバノミツバツツジ（4月初旬）

活動地のツツジたち



モチツツジ（4月中旬）



ヤマツツジ（4月中旬）



シロバナウンゼンツツジ（4月中・下旬）

***** 目次 *****

表紙	P1	序文
活動報告	P2~P6	桜の園・亦楽山荘、ゆずり葉の森、青葉台、山手台、武庫山の森
イベント報告	P6~P7	環境学習（逆瀬台小学校、美座小学校）
お知らせ・案内	P7~P9	運営委員会報告、安全関係、チェーンソー法令改正、会員消息、武庫川エコハイク
会員紹介	P9	1名
活動予定	P10	3月・4月

＜ 活 動 報 告 ＞

桜の園（赤楽山荘）

瀧本 浩一

1月25日（土） 曇り 参加者22名

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	桜坂上部	常緑樹除伐	9名	濱野
伐採	赤松植樹地～つつじが丘	ヤシヤブシの伐採、ソヨゴの除伐	7名	瀧本
園路整備	滝見の道	園路補修	6名	坂田

・ 森の整備（桜坂上部）

桜坂のヤマザクラの景観を損ねていた、背の高くなった大きなアラカシを伐採し、その枝葉処理に午前中を要した。また、その周りの常緑樹を除伐した。午後は、健脚組が桜坂作業道より上部急斜面の大きなアラカシを伐採、その他ヤブツバキなども伐採した。（濱野）

・ 伐採（赤松植樹地～つつじが丘）

作業地までの登りは汗ばむような気温だったが、まずまずの作業日和の一日だった。チェーンソー・オオノコを使用し、ヤシヤブシと斜めになっていたウリハダカエデ・ソヨゴを伐採した。午前中は厳しい斜面での作業となり、ツルに絡まりかかり木になった伐採木を苦勞して処理した。午後は、抜群のコントロールでヤシヤブシの伐採が進んだ。赤松植樹地の園路よりかなり下方まで伐採処理が進み、付近の林床は見違えるほど明るくなった。（瀧本）



赤松植樹地 伐採後処理

・ 園路整備（滝見の道）

届いたばかりのプラ階段14段と鉄筋を10数本担ぎ上げ、滝道への分岐点から、直下に満月滝を見下ろすトラバース道手前までの急坂のガレ場に、安全対策としてステップを作った。前回に続き2回目の作業であるが、施工できたのはまだほんの一部分だけであり、次回以降さらに増やして歩きやすくしたい。（坂田）



滝見の道 プラ階段敷設

2月7日（木） 晴れ 参加者22名

今季一番の冷え込みの中の作業となりました。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	コナラ林植樹地	枯れコナラ・アラカシ伐採、常緑樹除伐	9名	濱野
伐採	赤松植樹地～つつじが丘	桜周辺のヤシヤブシ伐採、枯れ松伐採	8名	加賀野
園路整備	滝見の道～ササラ沢	園路補修	5名	坂田

・ 森の整備（コナラ林植樹地）

約1年ぶりにコナラ林植樹地に入った。日当たりの良い上部のサクラは、順調に生育していた。主に桜周りの低木雑木と常緑樹の除伐を行うと共に、実生のウワミズザクラの株間の狭い所の間引きも行った。次回は遠見の道よりも上部の作業予定。（濱野）

・ 伐採（赤松植樹地～つつじが丘）

前々回（1/16）に伐倒したところで時間切れとなっていた大径のヤシヤブシの玉切りと枝葉処理をチェーンソー等で行った。伐倒木は背も高く、太い枝が5～7本出ているため処理に手間取り



コナラ林植樹地 常緑樹伐採

約 1.5 時間を費やした。その後付近にあった中サイズのヤシヤブシ 2 本と伐倒時巻き添えとなった中サイズの常緑樹 1 本の伐採と処理を行って下山した。(加賀野)

・ 園路整備 (滝見の道～ササラ沢)

他作業班の協力を得て、プラ階段、鉄筋を東屋まで荷揚げし、その後作業者分担して作業現場まで運搬した。前回の継続作業で滝見の道でのステップ設営にあたったが、石ころだらけの急斜面の登山道で、鉄筋さえ効かぬ場所が多くプラ階段の設置ままならず、付近の大きめの石を固定してステップを作らざるを得ない箇所が多く作業は捗らなかった。何とか上部は完了したが、次回さらに下部に進み完了したい。(坂田)

2 月 12 日 (木) 晴れ 参加者 23 名

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	コナラ林植樹地	低木雑木と常緑樹除伐	6 名	濱野
伐 採	赤松植樹地～つつじが丘	桜周辺のヤシヤブシ伐採、間伐	6 名	吉田
園路整備	滝見の道～ササラ沢	園路補修	4 名	加賀野
移植地整備	旧索道終点周辺斜面	実生ヤマザクラ移植予定地の整備	5 名	坂田
その他	親水広場	伐採木の整理他	2 名	

・ 森の整備 (コナラ林植樹地)

今回は滝見の道より上部を主体に作業を行った。大きく育った桜の周りの低木雑木と常緑樹の除伐を行う。中低木のコナラ、リョウブの萌芽株たち、ヤブツバキの伐採も同時に行った。(濱野)

・ 伐 採 (赤松植樹地～つつじが丘)

前回作業のサクラ近辺のヤシヤブシ (径 30cm 程) 2 本と小ぶりながら絡みついていたコナラとヤシヤブシをチェーンソーも使い伐採処理した。また、付近の常緑 (シキミ、ヒサカキ) も土留めの樹を残しながら除伐した。午後は赤松側へ移動してサクラの下にあるヤシヤブシ伐採の前作業として、下部にあるリョウブを伐採・玉切り処理をしたが時間切れとなり、残りの処理は次回繰り越しとなった。(吉田)

・ 園路整備 (滝見の道～ササラ沢)

前回同様大小石混じりの園路で、杭の位置、材質を選びながら、プラ階段、周辺に散在する大小の石及び丸太材と鉄筋杭を使って 13 箇所の階段を改善または新設し、主に下り歩行時の安全性を改善した。(加賀野)

・ 実生ヤマザクラ移植予定地の整備 (旧索道終点周辺斜面)

林間広場と四辻の中間ほどの地点、旧索道終点の急斜面に、周辺の実生ザクラを移植するための台場を 3 か所造成した。昨春発見した 20 数本の内から、とりあえず今回は 3 本を選んで移植する予定。



ヤマザクラ移植予定地の整備

【園内の大径枯木の委託伐採】

かねて市に依頼していました園内の大径枯木等の伐採作業が、2 月 3 日～5 日にかけて市内造園業者さんにより実施されました。親水広場のハリエンジュ、桜坂の枯れコナラ、枯れサクラ等 10 数本の大木が除かれ景観も改善され、危険も除去されたこととなります。残念ながら一部の土留め柵が破損したり、園路が崩れたり、枝葉処理が未完であったり、今後櫻守で整備補修を進めることとなります。



桜坂の枯れコナラ伐採跡



谷側に掛かった枯れコナラ枝の切断作業

2月10日(月) 晴 参加者21名(含 体験参加者1名)

2班に分かれて作業を実施。1班16名は最近目立ち始めた枯れ松の伐採処理。白瀬川第二堰堤上平を中心とした白瀬川両岸で作業に取り組んだ。午後2時過ぎの作業終了時に処理はほぼ完了した。

2班5名は①ゆずり葉森の広場の一角に植えられていたミツマタの苗木1本を白瀬川広場に移植、②ドングリの丘で移植予定のカスミザクラ2本の植え穴の準備、③コナラのホダ木6本にシイタケ菌を植え、ホダ場に移動・仮伏せをした。尚、前回から持ち越しになっていた西山堰堤路からコバノミツバツツジの丘に通じる園路脇の枯れコナラ・松各1本の伐採処理は次回以降に繰延べた。

2月14日に臨時にゆずり葉の森と青葉台の倉庫の利便性を良くする為に、有志5名で保管物の入替えと整理・不要物の廃棄処分をした。



白瀬川第二堰堤上平での
枯れ松の伐採処理



白瀬川広場脇へのミツマタの移植

青葉台

上田 威

1月29日(水) 曇 参加者16名

安全祈願を済ませて2班に分かれ作業を開始。

1班11名：光が丘ルート(光が丘口境界から青葉台口手前まで)の園路整備…落葉が積もったり、路肩に丸太が朽ち落ちたりして園路が分かりにくくなった部分は、伐採木や石を路肩に置き、階段の朽ちてしまった部分は周辺で手ごろな太さのソゴなどの常緑樹を伐採して横木を補強、埋没したプラ階段周辺は落葉、土砂を除き見えやすくしながら、予定の行程すべての作業を終了した。途中伐採した方が良さそうなソゴの大木や、枯れ松が数本あったが、道具の準備、時間の余裕がなかったため次回以降の処理とした。(リーダー：坂田)

2班5名：逆瀬台小学校横斜面の枯れ松伐採等…小さな枯れ松10本余を伐採し給食センター横斜面の大きな枯れ松を電線に掛からない様に斜面方向に伐採。付近のサクラ周りの常緑樹を除伐。帰路、陽光桜横のヤシヤブを伐採して作業を終えた。(リーダー：濱野)

作業終了後ささやかな直会を行い、散会した。



逆瀬台小学校横での枯れ松伐採



光が丘ルート：落葉の中の階段整備

山手台

岡 敏明

2月18日(火) 晴れ一時霰 参加者25名

北風が吹いてやや寒かったが良い天気であった。もっとも活動終了直前に一時的に霰が降った。南斜面では近藤秀幸さんが1人で植えた水仙が見頃です。「これからもっと増やして水仙郷にした」との意見もあり、前向きに考えたい。

見頃の南斜面の水仙



1. 桜の谷西側斜面の整備 (8名)

鬱蒼としていた斜面で常緑低木やササを伐採した。しかしこの方面からご神木のカスミザクラが見えるようにするためにも、来月も引き続き整備を行う。

2. 中川大橋右岸の整備など (6名)

前回処理が残っていた CoKo センターの枯れ松 3 本を処理した後、中川大橋そばの大ザクラの前を塞いでいたアラカシ大小 3 本を伐採した。急斜面かつ狭い場所での作業で苦労したが、大橋のどこからでも大ザクラが見渡せるようになり、今年の開花が楽しみです。



中川大橋下でのアラカシ伐採

3. アジサイロード両脇の整備 (9名)

アジサイロード両側面のササ・竹・低木常緑樹の伐採、および高枝伐りを使って桜周りのヤマモモの枝打ちを行った。その結果相当明るくなったが、桜周辺のヤマモモの繁茂は甚だしくさらに枝打ち等が必要です。下方山裾では、大・中 2 本の枯れコナラの伐採と処理を行った。ツルが絡みついていたり掛かり木になったりと難儀したが、定刻までにきれいに整理(集積)することができた。



アジサイロード
倒木コナラの処理

4. オオキンケイギクの抜き取り、樹名札の取り付け等 (2名)

武庫山の森

岸本 英邦

2月2日(日) 晴 参加者 28名

寒中とは思えない冬晴れの日差しのなか風もなく絶好の作業日和。

1. 宝松苑ルート大桜3号横のヤシャブシ他の伐採(継続) 10名

チェーンソーを使用して、大桜3号横で斜めに伸びたヤシャブシ、園路から目立つ枯コナラの大木を処理した。続いてセンダンの高木を倒した際、受けをしっかりと取っていたにも関わらず根元から幹が裂けてしまった。2本目のセンダンはチルホールで倒す方向を変えようとしたが、ほぼ自重通りに倒れてしまった。掛り木にならず処理に支障は出なかったが、センダンの脆さと重さや高木処理の難しさを勉強できた。

2. 東側道路沿い(南端)広場の整備 10名

サクラの日当たりを良くするため、コナラ 3 本を伐採処理した。オオノコで処理したため、午前中はこの処理と付近の常緑除伐で終了。午後は残りの枝葉処理と広場付近のヤシャブシの枝を高枝鋸で切り落とし、さくらの日あたりを良くした。

3. 広場上段ビオトープの水路改善と花壇整理 7名

昨年水漏れ工事をした池に、貴重な雨水が流入するよう水路を掘り下げ勾配を改善した。池の中の石や木などを拾い上げ土手の手直しもして 午前中で作業終了、あとは水のたまるのを待つばかり。午後は花壇班も合流し、集合広場横の水路を整備した。キショウブを 6 割方掘り上げ、広場の端には石を並べてキレイになった。



ビオトープの水路掘下げ

2月15日(土) 曇 参加者27名(うち1名体験参加)

心配していたが雨は降らず、曇ってはいたものの2月とは思えない暖かい日で虫も出て汗もかく一日だった。

1. 宝松苑ルート大桜3号横のヤシヤブシ他の伐採(継続) 14名

1 本目は高木で真っ直ぐ立っており重心の見極めを間違え、予定外の方向に倒れ残すはずのアカメガシワを根こそぎ倒して、コナラに掛り木になって処理に午後までかかった。別動隊はムベが絡んでいる木を処理したので本体以上にムベの処理に多くの時間を使うことになった。午後からはもう1本倒したが、これも方向がズレ掛り木になってしまった。ロープで引きながら処理をして作業を終えた。



大桜3号周辺センダン処理

2. 広場に植樹、集合広場横の水辺の整備、花壇 13名

朝納入されたサルスベリ4本、サザンカ4本を入口横や集合広場など目立つ場所に植樹した。予想通り土質が悪かったが、大きめの穴を掘り、落ち葉を敷き込んだので何とか育ってくれるものと。午後は育苗畑のクルミ3本を、北谷堰堤下左岸と東道路南広場に定植した。最後に次回の準備で、畑で育ちすぎたムクの木やクヌギを掘り起こした。植木屋さんからクロッカス、フリージア、アイリスの球根を頂いたので、花壇や集合広場への上り坂左手に植えた。



広場入口横に植樹

水辺整備では安全、恒久的な道としてU字溝2本を埋め込み、広場端の石を積み直し溝の中の木を拾い上げきれいにした。作業は午前中で終了し植樹班へ合流した。

< イベント報告 >

逆瀬台小学校環境学習

上田 威

2月4日(火) 晴 参加者: 児童53名(2クラス)、先生他3名、会員15名

快晴に恵まれ気温も例年になく暖かく、児童達の動きも活発。ビオトープ横での顔合わせと代表の挨拶後、“シイタケ”と“その栽培”に付いての簡単な講話。10班に別れて、会員の指導に従い電動ドリルを使ってホダ木への穴開けに取組んだ。次いで木槌を使ってこの穴へ種駒の打込み。ホダ場へ移動して過去4年間のホダ木の状態を観測。最も古くシイタケのほとんど生えなくなった2016年のホダ木を処分場所へ移動。今回植菌した新しいホダ木を組み込み、水を散き、日陰用の寒冷紗を張って一連の体験を終えた。児童達にはシイタケ栽培に欠かせないホダ木への水遣りやシイタケの収穫とその試食を是非体験して欲しい。



電動ドリルを使っての
ホダ木への穴開け



ホダ木への種駒の打込み風景



種駒を打ち終わった
ホダ木を井桁に仮組み

2月17日(月) 晴 参加者：児童67名(2クラス)、先生他5名、会員13名

会員全員で、ホダ木の配置や電動ドリルの動作確認を行い、児童達と合流。挨拶、代表の挨拶後に、逆瀬台小学校より借り受けた、同校で3年前に植菌してシイタケの生えたホダ木見本を見ての講話。児童達は10班に分かれて班担当会員の指導に従いドリルでの穴開け。児童達には初めての体験。次いで木槌を使っての種駒の植付け。

昨年植菌して仮積みされていたホダ木を本積み場所に移動して、今回植菌したホダ木を仮積み場所で井桁に組上げて、散水し、寒冷紗で覆って一連の体験学習を終えた。児童達には来年秋あるいは再来年の春に校庭の一隅で生長するシイタケを是非観察して欲しい。



シイタケの生えたホダ木の見本を見ながら説明を聞く



実技体験



井桁に組み込み後の散水

< お知らせ ・ 案内 >

運営委員会報告(1月度)

代表 近藤 茂

日時：2020年1月30日(木) 9:50~12:00

場所：ふらざこむ1 25A 会議室

(議題)

- ① 報告事項：武庫山の森 代表幹事の交代・・・岸本英邦さんから横山伸寛さんに(4月1日より)
- ② 安全：今年に入ってから3件の打撲事故・ヒヤリハットが発生した。会報に注意喚起の記事を掲載(この下)すると共に、各活動地の朝礼で安全の基本を守るよう話をする。
- ③ チェーンソーの法令改正：チェーンソー取り扱い時の事故が減っていないことより、昨年2月に労働安全衛生規則の一部改正があり、加賀野委員に特別講習会に参加していただいた。法令改正の概要をこの下の記事で確認してください。
- ④ 環境体験学習支援活動の内容：市に問い合わせ、環境学習指導要綱は特に定めていないこと、及び支援団体と学校が協力して学習を進めることを期待していることを確認した。当会がもっと充実した環境体験学習を提供できるようにするため、分科会を作って検討を行うことにした。
- ⑤ 花と緑のフェスティバル：今年も昨年度とほぼ同じ内容と規模で参加する予定。
- ⑥ 会報スタイルの見直し(継続審議)・・・来月度の運営委員会で時間をかけて集中審議を行い、結論を出す予定。検討の参考にするために、会員の皆さんが現在の会報をどのように思っているのかをアンケート調査することにした。(2月6日にメール会員の皆さんにアンケートのメールを発信しました。)

今年に入ってから、下記3件の小さな事故・ヒヤリハットがありました。これらはいずれも安全の基本動作を遵守していたら防止できたものです。特に伐木作業は大事故になる繋がる可能性があるので、追い口動作に入る前に確実にホイッスルを吹き、全員が危険範囲外に出たことを確認して作業するようにお願いします。

- ① 1月10日 桜の園：斜面のアラカシを伐採した時に掛かり木になり、チルホールを使って切断面を外すことになった。掛かり木が外れた時、急に張力が開放され、引き手作業者が斜面を転倒した。
- ② 1月21日 山手台：枯れ松を重心でない方向に倒す必要が生じたためにロープを掛けて引いたところ、足元が斜面にかかっていたため滑って転倒した。
- ③ 1月21日 山手台：ヤマモモの大きめの枝の切断中のトラブル。枝の下の側溝の中に作業者がいたにも拘わらず十分な確認をせずに枝を切り落としたので、その作業者のヘルメットに枝が当たった。

労働災害を防止し伐木作業等における安全対策を強化するため、2019年2月12日付で労働安全衛生規則の一部（第36条第8号）が改正され、2020年8月1日から施行されます。

林業における労働（賃金を取って行う作業）災害発生について、2011年以降の死亡者数は年間40人前後で推移し、この中、チェーンソー作業による伐木作業中に発生した死亡災害が年間で約6割を占めており、伐木作業中に立木等が労働者に激突する等の災害が約3割、チェーンソーによる切創等が約2割程度占めている。

改正の重要内容

- 1) 受け口を作るべき立木の対象を、胸高直径40cm以上→20cm以上に拡大
- 2) 伐木作業における掛かり木が速やかに処理できない場合には、当該掛かり木が激突することによる危険が労働者等に生ずる箇所において、当該作業に従事する労働者以外の者が立ち入ることを禁止し、その旨を縄張り、標識の設置等の措置によって明示しなければならない。
- 3) 伐木作業においては、当該立木の高さの2倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてならない。
- 4) チェーンソーによる伐木作業等を行う労働者は、下肢の切創防止用保護衣*を着用しなければならない。

※チェーンソーによる休業4日以上死傷災害の多くは、労働者の下肢を切創しているものである。

※切創防止用保護衣* JIS T8125-2に適合するもの

下肢の部分に切創防止用繊維（ケブラー等）を入れた防護ズボン、取り外しが出来る前掛け状のチャップス・・・チェーンソーの刃が保護衣に接触すると、表面の繊維が破れケブラー等の繊維が刃に絡まり、1秒以内にチェーンソーが停止する。

（解説）この切創防止用保護衣の着用は林業を職業としている人に対して義務付けられたものであり、当会の様にボランティア団体は現時点では対象になっていません。

入会 谷口 正己 さん、 藤本 正雄 さん 今後ともよろしくお願いします。

第153回「武庫川もう一つの源流を歩く」

今回は武庫川のもう一つの源流・波賀野川源流地帯を歩き、中世の山城跡が点在する大沢ロマン歴史の森を訪ねます。今、話題の大河ドラマ「麒麟がくる」で登場する丹波の古戦場の山城跡です。

日時：2020年3月14日（土） 雨天中止

集合：JR 福知山線「古市駅」改札口前 9時45分

（参考：快速篠山口行・尼崎8:43・・・宝塚9:02・・・古市9:37着）

ルート：JR 古市駅前～波賀野新田～見内～東谷池～肩越えの辻(560m)～音羽山(530m)
～火とぼし山(501m)～三角山(418m)～大沢城址(422m)～祿庄城址(325m)～大沢
～八幡神社～JR 篠山口駅

解散：16時頃 JR 篠山口駅（約11km 健脚向き・標高差350m アップダウンの厳しいコース）

第154回「武庫川さくら回廊を歩く」

今回は武庫川が上流で大蛇行している藍本から広野までの桜並木のスポットを歩きます。

日時：2020年3月28日（土） 雨天中止

集合：JR 福知山線「藍本駅」改札広場 9時35分

（参考：JR 快速篠山口行・尼崎8:45・・・宝塚9:02・・・藍本9:31着）

ルート：JR 藍本駅前～酒滴神社～曲り～駒宇佐八幡宮～須磨田～大堰橋～千丈寺湖西岸
～青野ダム記念館～JR 広野駅

解散：15時30分頃 JR 広野駅（約17km 健脚向き・距離が有ります）

参加費：100円（保険代、資料代）

*お問合せ：エコグループ・武庫川 携帯090-7763-6763（上田）

< 会員紹介 >**神野 徳子 さん**

昨年12月に入会しました神野徳子（かみののりこ）です。珍しくはない苗字ですが、読み方を迷われる方が多いようです。自宅近くの夙川や満池谷で、廃線ハイキングで行った亦楽山荘で、湖北の清水の桜で笹部新太郎氏の名前を目にして興味を持ち、小説『櫻守』を読み笹部氏のファンになりました。同じ頃、葉が出るより前に一気に咲くソメイヨシノがずっと大好きだったのに、花の色も葉の色も様々なヤマザクラがだんだん好きになっていました。そんな折、夫の知人のT氏が「櫻守の会」で活動されているのを知りましたが、女性は活動できないだろうと思い込んでいました。その後、女性も活動できると知り、迷いなく入会させて頂きました。5～6年前から、遅咲きで山歩きを始め、昨秋は南アルプス仙丈ヶ岳や八ヶ岳（赤岳）に登りました。また六甲山は1人で、様々なルートで、気の向くままに歩いたりしています。山を歩くだけでなく、櫻を守りながら、山を守る活動ができるのも嬉しく思っています。とは言いながら、まだまだ自分はどこで何ができるのか、何をしたらよいのか戸惑っています。習うより慣れろで皆様の様子を見ながら、なんとか活動できるようにならなければと思っていますが、やはり何も分からず、何かとお聞きして足手まといになる事も多いかと思いますが、ご指導よろしくお願ひいたします。

＜ 活動予定（3月・4月）＞

月別行事予定表

3月	場所等	4月	場所等
3月1日(日)	武庫山の森	4月2日(木)	桜の園・亦楽山荘
3月6日(金)	桜の園・亦楽山荘	4月5日(日)	武庫山の森
3月10日(火)	ゆずり葉の森	4月8日(水)	ゆずり葉の森
3月17日(火)	山手台	4月15日(水)	桜の園・亦楽山荘
3月19日(木)	桜の園・亦楽山荘	4月18日(土)	武庫山の森
3月21日(土)	武庫山の森	4月21日(火)	山手台
3月25日(水)	青葉台	4月24日(金)	桜の園・亦楽山荘
3月28日(土)	桜の園・亦楽山荘	4月25日(土)	花と緑のフェスティバル
3月30日(月)	会報印刷(ぶらざこむ)	4月26日(日)	花と緑のフェスティバル
		4月27日(月)	会報印刷(ぶらざこむ)
		4月29日(水)	青葉台

＜ 編集後記 ＞ 会報の編集作業を始めたこの数日の間に、新型コロナウイルスの感染拡大の緊迫度が急激に高まりました。2月25日に政府より感染の拡大防止に関する基本方針が出され、更に翌26日には「この1～2週間の間に開催予定の全国規模の大きなイベントやスポーツ大会の中止又は延期要請」が、27日には「全国の公立小中高校の春休みまでの休校要請」がありました。まさに正念場に入ったという感じですが、国民皆さんの中では外出を控えるような雰囲気が強まっています。と言って外出を一切しないで家にじっと籠っていると、それだけで病気になってしまいそうで……。櫻守の会では緊急の運営委員会を開いて、当面の対応を決定しました。この会報の最終の囲み記事をお読みください。(近藤 茂)

【赤松植樹地のエドヒガン】



2011年3月8日(東日本大震災の3日前)に、会員のK氏より提供されたエドヒガン苗15本を、桜の園の最高標高地点に近い赤松植樹地に植えました。陽当たりの良い所に植えたため、左の写真のように姿良く枝分かれしてスクスクと育っています。発芽から12年位経っており、樹高も3メートルを超えていますが、長寿のサクラであるためか未だに花を付けていません。「今年こそお花見をしたい」と楽しみにしていますが、さてどうでしょうか。

将来、何十年後・百年後には素晴らしいエドヒガンの園になっていることでしょう。

新型コロナウイルスに対する櫻守の会の対応

運営委員会

臨時運営委員会を開催し、当面の対応として下記の通り決定しました。

- ・里山整備活動はスケジュール通りに実施します。但し周囲の状況の変化に注視して速やかに対応し、休止にすることもあります。その時は会員の皆さんにできる限り早くご連絡します。
- ・発熱や咳など風邪に似た症状のある方は、活動への参加をご遠慮ください。
- ・基本的な感染予防対策として、マスクの着用と手洗いの励行をお願いします。